



# 平成28年度 第3回まなびあいサロン

テーマ：『9歳の壁を越えるために！』  
アドバイザー：小学部 菊地 聡子 教諭

9月8日（木）に、第3回まなびあいサロンが行われ、幼稚部、小学部、みみちゃん教室の保護者や小学校の先生、福祉施設の職員など、十数名の方が参加してくださいました。



アドバイザーの菊地先生からは、「9歳の壁という言葉はよく耳にしますが、実はその前に『5歳の坂』というハードルがあり、まずはその坂を登りきることが大切なのです。」との話がありました。そのためには幼児期に、「どうして?」「どんな?」などを意識して会話をしたり、ままごとなど、遊びの中で自分以外の人になる経験をしたり、絵本の読み聞かせを通して広い世界を楽しめるようにしたりすることが大切とのことでした。

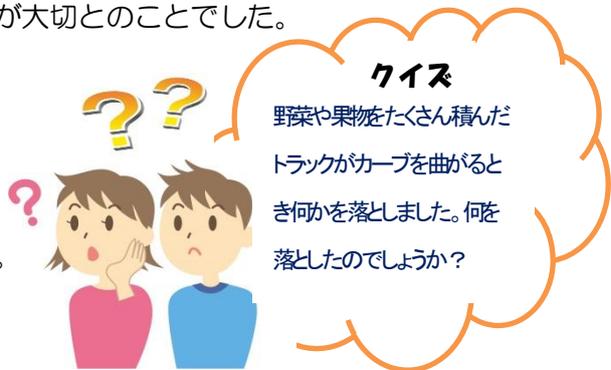
次に、今回のテーマである『9歳の壁』については、3、4年生の算数や理科などの学習内容を具体例に挙げながら、壁を越えるために身につけたい力についてのお話がありました。『9歳の壁』を越えるためには、物事の背景や因果関係を考えたり、問題解決の方法や仮説を考えたり、助詞をしっかりと入れた複文を使って表現できる力が必要です。



そのためには、意図的かつ日常的に、教科で使う難しい言葉を見聞きする経験を増やしたり、「どうして?」と問いかけたり、あえて難しい言葉を使ったり、本を手にする機会を増やし、「興味や関心」を大事にして学びにつなげたりしていくことが大切とのことでした。

今回参加された皆さんは、1歳前の小さなお子様から、今まさに9歳の壁と向き合っているお子様をおもちの方まで様々でしたが、メモを取りながら熱心に聴いておられました。

最後のクイズでは思わず笑いがこぼれるなど、真剣な中にも和やかなサロンでした。



## クイズ

野菜や果物をたくさん積んだトラックがカーブを曲がるとき何かを落としました。何を落としたのでしょうか?

## 参加者の感想

- ・幼児期の言葉の広がりがある後の学習につながるがよく分かりました。難しい言葉も取り入れながら、日常の関わりを大切にしていきたいと思えます。
- ・日常生活で流れてしまうことがたくさんあるので、例えば音読に出てくる言葉などにもっと気をつけて、心がけて生活してみようと改めて思いました。